

マリンシーズン到来！ 水難事故から身を守る

海水浴や海釣り、サーフィン、カヌーなど、夏は、マリンレジャーの最も盛んなシーズンです。特に、夏休みなどには、大人から子どもまで、多くの人が海を訪れます。海で安全に楽しく過ごすためには、海に関する知識を身につけたうえで、自分の身を守るための十分な準備をすることが大切です。

7月14日（火）大丸小学校のプールで、志布志海上保安署による（署員6名）水難事故防止教室が行われ、児童40人が、着衣遊泳などを体験しました。



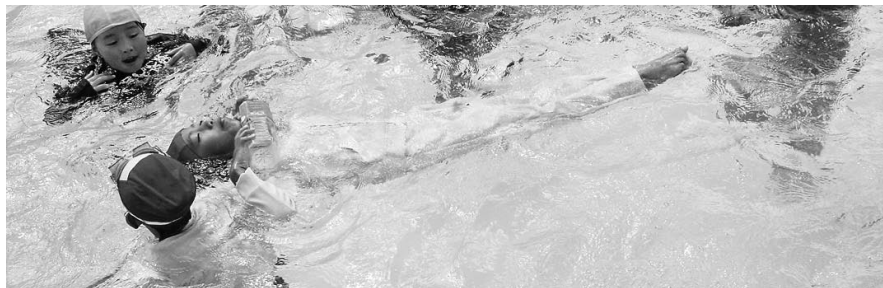
▲海上保安員による”着衣遊泳”の実演

着衣に空気を入れて浮かぶ方法

「身体は海で浮きます。とにかく体力と体温を失わないようにじっと浮かんでいること。無駄な動きをしない」とアドバイスをいただきました。

▼救命胴衣の装着方法の指導

家族で釣りやボートなどのマリンスポーツを楽しむ際は、救命胴衣を、必ず着用すること。



▲身近にあるものを使った緊急対応

ペットボトルやレジ袋といった身近なものを浮具にする方法を指導していただきました。

◀ペットボトルで作った救命具を投げる練習

身近にあるものが、命を救う場合があります。いざというときのためにロープなどは携帯しておきましょう。

自分の命を守る3つのポイント

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① ライフジャケットの常時着用 | —浮力の確保— |
| ② 携帯電話など連絡手段の確保 | —速やかな救助要請— |
| ③ 118番の有効活用 | —海のもしもは118番— |

※子どもたちだけで、危険な場所に行かないようにしましょう！